

ブーンカウンティのご家族の皆さま

過去3週間にわたり、私たちのコミュニティや学校内の新型コロナウイルスのオミクロン株新規感染者数は劇的な減少を見せています。週当たりの生徒の新規感染者数は83%の減少、職員の新規感染者数は89%の減少を見せる中、ブーン郡の新型コロナウイルス発症率は、以前の過去最高水準の288.5 症例/人口10万人から、現在44.4 症例/人口10万人まで減少しています。

CDC(疾病対策予防センター)によると、ワクチン接種をした人は、この病気による重症化を防ぐことができ、追加接種を受けることで、オミクロン株感染による入院の可能性は90%減少する効果を見せていると公表しています。現在のブーン郡のワクチン接種率は以下のとおりです。

- 65歳以上の高齢者が新型コロナウイルスのワクチン接種率(2回目) 92.3%
- 65歳以上の高齢者が新型コロナウイルスの追加ワクチン接種率 68.0%
- 18歳以上の成人の新型コロナウイルスのワクチン接種率(2回目) 73.7%
- 18歳以上の成人の新型コロナウイルスの追加ワクチン接種率 44.6%
- 5歳以上の児童の新型コロナウイルスのワクチン接種率(2回目) 65.0%

私たちの優先事項は、生徒とスタッフの安全を維持し、対面指導を提供を継続することにあります。今週に入って私たちの学区の新型コロナウイルス対応委員会は、学校再開に関する手引書に記された安全プロトコルを、これまでのマスク着用の義務付けからマスク着用推奨へと調整することを推奨しました。この変更を実施するにあたって、学区のご家族と職員が必要とする準備期間を確保するために、学区内の各校および施設において2月16日(水)からマスク着用推奨へと移行することとします。

また米国連邦規制により、移行後も生徒とスタッフが学区の交通機関を使用する際は、マスクの着用が義務付けられます。

今後においても、新型コロナウイルスの新規感染拡大が発生した場合は、学校閉鎖または学校の一部閉鎖を実施するか、マスク着用の義務付けへと再度移行する可能性があります。また感染予防の安全プロトコルの全ての規準は依然として有効とします。

- 病気の症状がある場合は自宅待機する。
- 学校での生徒間のソーシャルディスタンスは実行可能な限り3フィート以上保つことを推奨する。生徒と教員/スタッフ間のソーシャルディスタンスは実行可能な限り、少なくとも6フィートを保つことを推奨する。
- 定期的に手を洗う。
- 共通使用する物の表面清掃
- 咳の時は口と鼻を覆う。

現在行われているTest to Stay(テスト・ツー・ステイ)プログラムのサービスも継続します。さらに、新型コロナウイルスのワクチン接種クリニックを、来週学区内のハイスクール4校にて開催する予定です。詳細については、学区のホームページにてご確認下さい。今後も皆さまのご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

Matt Turner